

外国人困窮者支援のいま
—北関東医療相談会月間レポート：2021年7月版—

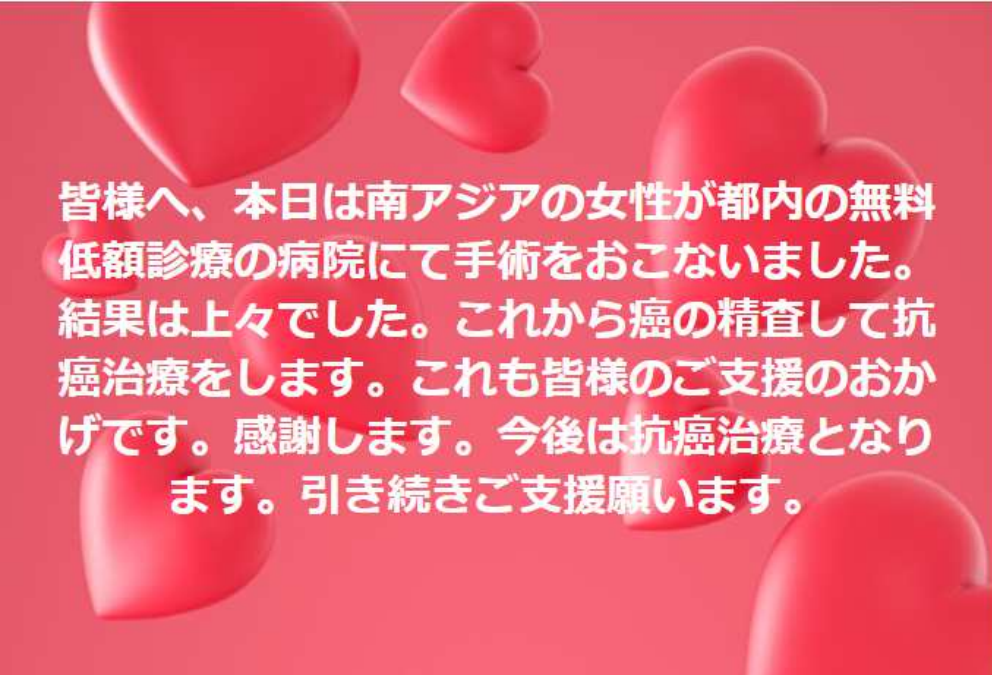
◆支援日誌

◇7月2日「仮放免クルド人の通院同行」

本日は、川口の病院に行きました。市内に住む仮放免者クルド人の母親が糖尿病。支払いが困難ということでしばらく病院に行っていないとのことでした。通訳は家族に依頼して、数回自宅に伺い家庭状況を調査して病院に依頼しました。

初回検査のため9時30分に自宅に行き、車で15分かけて病院に行き、終了は13時でした。初回では検査が行われるのでこんな感じです。次回以降、父親の心療内科、娘の足の状態のために病院を探しに行く予定です。長く続けられると良いと思いました。次回以降が楽しみです。

◇7月2日「仮放免南アジア出身女性の手術」



皆様へ、本日は南アジアの女性が都内の無料
低額診療の病院にて手術をおこないました。
結果は上々でした。これから癌の精査して抗
癌治療をします。これも皆様のご支援のおか
げです。感謝します。今後は抗癌治療となり
ます。引き続きご支援願います。

◇7月5日「コロナ禍で困窮する仮放免者のいのちをまもる」

皆様へ

当会の寄付集めのURLができました。是非拡散、シェアをしてください。もちろんご自身の寄付もウエルカムです。よろしくお願いします。



CONGRANT.COM

コロナ禍で困窮する仮放免者のいのちをまもる | 北関東医療相談会

本年2021年5月18日、入管改訂案は事実上の廃案とされました。しかし現行法においても、...

https://congrant.com/project/npoamigos/3162?fbclid=IwAR0_49-tPCx2zBC6ZUD9k1a36GQKlvi1AV0h0ttYaPbgtQqlZmEAESACp00

◇7月23日「仮放免南アジア出身女性の手術の成功&退院！」

皆様へ、南アジアの女性の卵巣がんの手術は終わりました。手術は成功し、7月19日に病院を退院することができました。

また、7月12日には在留特別許可が決済されました。二人のお嬢さんにも定住者一年ができました。これで親子は苦境から出られます。感謝いたします。

手術費用の清算は連休明けになると思います。今後は抗がん剤の治療となります。手術代金までは皆様の支援金で支払うと思いますが、抗がん剤治療からは国民健康保険で対応することができます。

現在までは多くの方の支援とメディアの報道によって対処することができました。今後は残った胆嚢結石の方の手術が8月16日にあります。引き続きご支援を願いたいと思います。

今回3人の方の支援についてご支援をいただきました。卵巣がんの親子には子供の教育と家賃、2人目の糖尿病の方は依存症の治療と家賃、3人目の方は治療と家賃が課題となります。

また、当会では今後も、仮放免者と難民申請者、海外からの移住労働者の高額な治療費への負担の在り方を模索し続けることとなります。引き続きご支援をよろしくお願い致します。

注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

◆支援状況

◇個別支援（アウトリーチ支援）

- ・ 10 名程度で個別支援。
- 相談支援や医療支援、入管関係支援などを行う。

◇電話相談（受信・発信件数）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
36	33	12	14	41	24	26	30	19	30	37	23	31	29	31	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
40	22	5	17	46	27	20	17		10	43	32	22			46

※空欄は電話相談はあったが確認することができなかった日。

- ・ 電話相談総件数 763 件
- ・ 1 日平均 24.6 件（最大 46 件）

◇食料・生活必需品等の配布

- ・ 食料（米、おかず、野菜、調味料など） 75 件



◇住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
仮放免のフィリピン人2人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。
ベトナム人仮放免者1人が入居中。

◇メディア掲載

- ・2021年7月11日 カトリック新聞「国家による『間接的殺人』」。
- ・2021年7月 東京プレーヤーセンターNews Letter 長澤正隆「ガリラヤを歩む」。
<https://www.tpc365.com/message/no-115%ef%bc%8f%e3%82%ac%e3%83%aa%e3%83%a9%e3%83%a4%e3%82%92%e6%ad%a9%e3%82%80>

神に祈り、日本を救い、日本を変える

東京プレーヤーセンター Tokyo Prayer Center 2021年7月
ニュースレター News Letter Vol.115
365日祈り会 365日礼拝

発行責任者：代表/チャプレン 和氣敏治(工学博士)
相談役 中野雄一郎(MOM代表)

「ガリラヤを歩む」



カトリックさいたま教区 終身助祭
特定非営利活動法人
北関東医療相談会 事務局長
長澤正隆

NPO法人北関東医療相談会「外国人の健康(いのち)支援」(アミーゴス)は、オーバーステイのフィリピン人男性の胃がんによる死亡から活動が始まりました。平成9年6月に群馬県伊勢崎市にて第1回医療相談会を開催し、無料健康診断会を行ってきました。

以来、栃木県、東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、岩手県と活動を広げてきました。通算61回、制度の狭間にいる2,886人の在留外国人生活困窮者の「いのち(健康)を守る」ことを心がけ、無料健康診断と個別医療相談を通して、医療費と薬代金の支援、生活支援、食糧支援、シェルター支援をしてきました。

今日お伝えする福音は、「**あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。**」(マルコによる福音書16:7)です。聖書では、主が復活され、イエスの墓を訪れた女性たちに「ガリラヤへ行くように」と伝えたことは、最初に戻りなさいという意味です。ガリラヤへ行くように呼び掛けたのは、ガリラヤが「エルサレムで執り行われる祭儀から、最もかけ離れた人々の住むところ」をさしているからです。

アミーゴスの「ガリラヤ」、現代の寄留者は在留資格がない者、言語困窮者、支援体制がなく社会から疎まれていた人達です。無料健康診断会や生活相談に来る人、妊娠し産む病院が無くなるまで出産費用を借りまくった夫婦、とび職として技能研修に来たが、けが人が放置されるのを見て逃げ出した人、せっかく国立病院までたどりついたのに裸同然で「ホテルじゃない」と追い出され肝不全のために亡くなった女性などです。

アミーゴスは24年前に、保険やお金が無い人々のためにイエスが作られました。イエスは排除されてきた人々のところに呼ばれ、無料で検診をおこない、治療費を捻出し、健康(いのち)が守られるような神の愛を示す野戦病院としました。

復活された主は、今この時も私たちに「ガリラヤ」へ行くように勧め、いつも「ガリラヤ」に立ち、手を振り招いています。

その「ガリラヤ」とは、毎日の生活の中、街の中の片隅にあるのです。

TPCは「日本と世界のリバイバル」を目指します

- (1)日本のキリスト教界に元気を与える
- (2)毎日、礼拝を捧げ、祈り会をおこなう
- (3)超教派として活動する
- (4)伝道、学びなどのために貸室を提供する

News Letter No.115 July 2021 (1)

編集：大澤優真